

日本学術会議
機械工学委員会・土木工学・建築学委員会合同
IUTAM 分科会 理論応用力学企画小委員会（第 3 回）議事録

1. 日 時：令和元年 6 月 29 日（土）15:50～17:20
2. 会 場：北海道大学工学部 211 講義室
3. 出席者：菱田（委員長）、岸本、前川、亀田(skype)、加藤、高木、堀、山川、山田、吉川（仁）

4. 配付資料

資料 1 01-1 講演会プログラム

01-2 講演申込内訳

01-3 査読論文投稿予定者数一覧

資料 2 欠番

資料 3 03-1 委員の辞任様式

03-2【決裁用名簿・H31.3.28_】理論応用力学企画小委員会

資料 4 04 理論応用力学コンソーシアム設置趣意書・規程・内規(2019-5)

資料 5 05-1 ICTAM2024 招致準備委員会（第 1 回）議事録

05-2 誘致関連書類（規約，計画，助成:2019-6）

5. 議事

(0) 菱田委員長からの開会挨拶の後、委員会が成立することが確認され（出席者数 10 名、定足数 8 名）、議題の概略が説明された。本委員会の後に、理論応用力学コンソーシアムの設立総会が開催されることが報告された。

(1) 第 65 回理論応用力学講演会の実施（報告）

河野先生（新潟大学）から、本講演会が土木学会応用力学シンポジウムとの共同開催であること、開催時期が当初予定から変更になった経緯が報告され、問題無く運営が進められてきたことが報告された。2 件の特別講演とパネル討議にも多くの参加者を得ることができ、担当の幹事 4 学会に感謝の辞が述べられた。

本講演会の英文論文集は休刊とし、その代わりに土木学会論文集 A 2 に投稿を受け付けること、査読と編集は 5 部門に分けて土木学会で進めることが報告された。

一般参加費は 1 万円（USB 論文集含）、学生会員は 5 千円で運営され、収支はほぼ均衡する見込みであることが報告された。経理は一括して土木学会が管轄した。

菱田委員長から、次回以降は日本工学会に設置予定のコンソーシアムが財務管理に関わるものと予想されることが述べられ、最後に土木学会応用力学委員会に対して感謝の意が表された。

(2) 第 66 回理論応用力学講演会の幹事学会、実施時期（審議）

菱田委員長から、第 66 回理論応用力学講演会の実施時期と担当幹事学会について提案があり、従来の慣例に従って 2 年後に、日本建築学会で担当頂くことが決定した。2024 年の IUTAM 総会の誘致が成功した場合には、次回講演会はその前段階の講演会となる。テーマ設定やセッションの前準備などで、重要な講演会となることが期待される。

(3) 理論応用力学企画小委員会委員の交代（審議）

企画小委員会委員の荒木慶一委員の辞任、高田豊文氏の委員就任について審議され、全員一致で認められた。

(4) 日本工学会理論応用力学コンソーシアムの設立について（報告と依頼）

菱田委員長より、日本工学会に理論応用力学コンソーシアムを設立するにあたっての経緯と設立の趣旨説明がなされた。講演会の継続運営、資金管理体制の確立、IUTAM 総会及びシンポジウム誘致の推進、委員種別、年会費等についての概要が説明された。

これまで理論応用力学に参画されてきた 20 の学協会からの参加と協力が要請された。既に機会学会、日本建築学会、土木学会は参画の意を表し、各学会からの代表者が内定していることが報告された。

(5) ICTAM2024 の東京誘致（報告）

菱田委員長から、ICTAM202 招致準備委員会が設置されたこと、東京観光財団から誘致の支援を得るために設置された経緯が説明された。本委員会閉会の後、続いて日本工学会理論応用力学コンソーシアム設立総会が同場所にて開会された。

以上

日本工学会理論応用力学コンソーシアム設立総会

1. 日 時 : 令和元年 6 月 29 日 (土) 17:20~18:00
2. 会 場 : 北海道大学工学部 211 講義室
3. 出席者 : 土木学会(泉,紅露,佐藤,加藤,吉川)、IUTAM 分科会(菱田,亀田,岸本,前川,加藤,高木,堀,山川,山田,吉川)、日本機械学会 (佐々木)、日本建築学会 (山川)、地盤工学会 (小林)、化学工学会 (松隈)、日本計算工学会 (岡澤)、日本原子力学会 (山田)、日本船舶海洋工学会 (鈴木)、日本伝熱学会 (花村)、日本物理学会 (半場)、農業農村工学会 (濱本)、日本混相流学会 (高木)

(1) IUTAM 分科会理論応用力学企画小委員会・菱田委員長から開会の挨拶とコンソーシアム設立の目的と趣旨、会員規約、意思決定の構造に関わる総則の説明があった。

(2) 役員の選考が行われ、代表に菱田公一氏（明治大学）、副代表に前川宏一氏（横浜国立大学：土木学会）、幹事に堀 宗朗氏（東京大学）、山田貴博氏（横浜国立大学：機械学会）、大崎 純氏（京都大学：日本建築学会）、顧問に岸本喜久雄氏（日本工学会）の就任が承認された。

今後の理論応用力学講演会の運営方法と経理の体制、幹事学会と日本工学会本コンソーシアムとの連携方法は、本コンソーシアムで議論し、参画する学会からの意見や要望も議論に反映して今後、詳細を決めていくことが確認された。現段階では、主幹事学会が理論応用力学講演会を主催し、コンソーシアムが経理支援する体制が考えられる。

直近の活動として、IUTAM 総会の誘致に努力を傾注することが確認された。

以上